

なのはなだより NANOHANA DAYORI

NANOHANA DAYORI
No.62
January 2011



INDEX

①
②

トレンドTOPIX 潮流

（ニュースウォッチ）

どうなる、お泊まりデイ！

フォーカス「老健ちば」

〈新年の「ごあいさつ〉

千葉老健副会長

医療法人社団天宣会 理事長 西浦天宣氏

平成22年度社団法人全国老人保健施設協会

会長表彰（施設表彰）

第20回全国介護老人保健施設

新潟大会演題表彰

〈平成22年度『研究事例発表大会』〉



③
④

〈リスクマネジメント研修会〉報告

（自由気まま）

ペーパーブログ

「輝く未来のために」

竹本志保（介護支援専門員）



⑤
⑥

〈リスクマネジメント研修会〉報告

（自由気まま）

ペーパーブログ

「輝く未来のために」

竹本志保（介護支援専門員）

「支援相談員部会」よりお知らせ

⑦

（なのはなスマイル）～施設の笑顔紹介～

●さかえケアセンター

●ミス・ヘンテ記念ケアセンター

（老健ちばカレンダー）



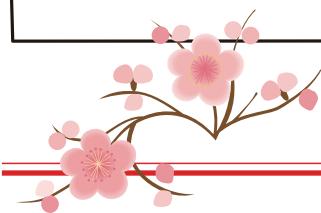
<http://www.chiba-roken.jp/>

平成23年1月21日 発行

●発行者/千葉県老人保健施設協議会 ●編集者/広報委員会

●〒262-0042 千葉県千葉市花見川区花島町149-1 TEL:043-250-7352 FAX:043-286-0661

「宿泊付きデイサービス」の制度化を考える東京フォーラム開催



潮流トренд TOPIX ちょうりゅう

ニュースウォッチ

どうなる、お泊まりデイ！

2010年11月27日、「宿泊付きデイサービス」について、宅老所や小規模多機能サービスなど、制度化のあり方を考えるためのフォーラムが開催されました。

介

護保険制度の見直しで導入の可能性が浮上した「宿泊付きデイサービス」について、宅老所や小規模多機能サービスなどの実践者が望ましい制度化のあり方を考えるために企画した緊急フォーラムが11月27日、東京都内で開催された。「ケアプランありきの介護保険では、利用者の状態に応じた柔軟な泊まりは出来ない」「人件費を出すために常時ベットを埋めておくことが優先されてしまう」。自主事業で泊まりを行つてきた実践者らは、「デイの泊まりは在宅生活を続けるためのセーフティネットだと主張した。利用者本位のサービス提供を貫くのであれば、制度化は一般財源で行うべきとする声や、新たなサービスの導入のあり方の検証を求める声も相次いだ。

東京フォーラムではまず、呼びかけ人のひとりである第2宅老所より（福岡市）の村瀬孝生さんが、デイでの泊まりが介護保険サービスとして導入された場合の「問題」について指摘した。介護保険になれば、ケアプランありきで柔軟な対応は難しくなるばかりか、事業所はとにかく稼働率を上げることを優先してしまうことになりかねない

と主張し、「在宅を続けるための泊まりが機能するのは、馴染みの人間関係ができる場所で、いつも泊まれる安心感が担保されているからこそ。それは需要と供給の関係ではなく、セーフティネットとしての役割だと思う。保険給付より税金で行うべきではない」と投げかけた。

一方、デイサービス・ショートステイ、小規模多機能型居宅介護など既存の在宅サービスの検証をするのがまず先ではないかと意見も出された。

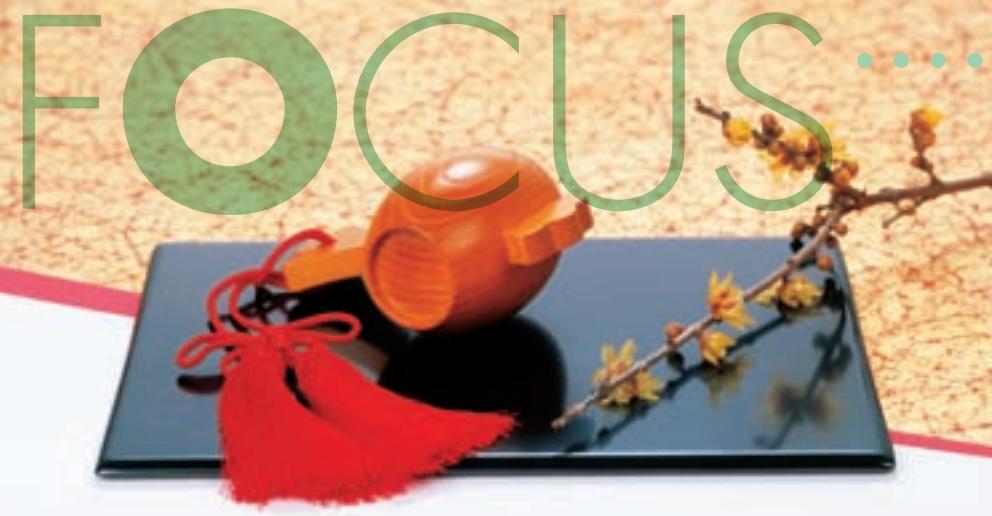
厚生労働省は2011年度予算の概算要求の中にデイサービスで宿泊事業をするために必要な個室の仕切りやスプリング

ラーを設置する費用として100億円を盛り込み、介護保険のサービスとして実施する方向だったが、介護関連業界の反発が強く100億円の施設整備費についても、大幅に圧縮される見通しだ。
来年度からは、介護報酬改定議論が本格化する。宿泊の問題はデイサービス本体の単価にも大きく影響すると思われる。

※シルバーニュース12/3より一部抜粋



TOPIX ①



新年のごあいさつ



千葉老健副会長
医療法人社団天宣会 理事長
西浦 天宣 氏

明けましておめでとうございます。
今年は辛卯、七赤金星の年です。枯死した草木が新しくなるうと、辛苦・辛酸など「辛い」思いもするが、地上では陽気が盛んになり、みずみずしい緑が大地を覆い春を感じられる。過去に努力をおしまなかつた者は豊年満作の喜びの年だそうです。今年が皆様方にとりまして豊年満作の年となりますよう、心より祈念申し上げます。

さて、介護保険制度のスタートから早10年が経過し、今や介護老人保健施設も介護保険制度も高齢者介護に欠かせない施設制度となりました。

その介護保険制度の保険料は、被保険者が支払う保険料と、国・都道府県からの公費で大半がまかなわれ、利用者はサービスにかかった費用の原則1割負担ですが、厚生労働省は平成24年の制度改革に向けて、負担増と給付の縮小を中心に介護保険制度の見直しを進めています。具体的には追加的な税金投入が難しいことから、高所得者や軽度者の利用者自己負担の引き上げや、40歳未満からの保険料の徴収、相

の状況において、ユニットケアの整備を推進することは、まるで逆行しているように思ひます。

このように老人保健施設は多くの難題を抱えていますが、サービスを提供する側受ける側、双方の意見が反映され、より良い形で恒久的な「社会保障制度」が構築されるよう、努力をしていかねばなりません。平成24年の制度改正に向け、新しい時代に相応しい老健施設へ発展するよう、ますます横の連絡を密にして正確な情報をキャッチしていく必要があります。

今年も宜しくお願ひ申し上げます。

そのような中で国は質の高い介護と、施設入所者の重度化を強く求めています。一例が特養の70%、老健の50%を整備目標に「ユニットケア」を強く進めているのです。

高齢者が安心して暮らすことができる制度確立が強く求められる一方、高齢者の増加に比例し、介護保険施設の利用者も増え、財源の確保もままならないというこの状況において、ユニットケアの整備を推進することは、まるで逆行しているように思ひます。

このように老人保健施設は多くの難題を抱えていますが、サービスを提供する側受ける側、双方の意見が反映され、より良い形で恒久的な「社会保障制度」が構築されれるよう、努力をしていかねばなりません。

平成24年の制度改正に向け、新しい時代に相応しい老健施設へ発展するよう、ますます横の連絡を密にして正確な情報をキャッチしていく必要があります。

今年も宜しくお願ひ申し上げます。

第20回全国介護老人保健施設 新潟大会演題表彰

第21回全国介護老人保健施設 岡山大会において、昨年の第20回新潟大会における演題発表で、次の施設が表彰されました。

◎優秀奨励賞
赤門なのはな館

脱臭大作戦 THEエコロジー
～臭いますから匂います～

橋本 英昭、鈴木 佐智子、牛坂 厚彦、竹中 亜彩

平成22年度社団法人全国老人保健施設協会 会長表彰(施設表彰)

第21回全国介護老人保健施設 岡山大会において、表彰規程第2条(4)※により、千葉県では次の施設が表彰されました。

・松尾リハビリ苑
・つくも苑
・福聚苑

※表彰規程 第2条(4)
正会員施設及び賛助会員(団体)として全老健加入年数が20年以上に達した者



事例研究発表大会 表彰式

優秀賞

■シルバーケア鎌ヶ谷
チームケアについて
～ちょっとした工夫で
情報の共有化が図れた～
石原 美江(介護職)

今回の研究ではほんの一工夫で予想以上の結果を残すことができました。しかし、改善点もまだまだあります。ご利用者様に対してより良い介護が行えるよう、これからも工夫を重ね、質の向上に努めていきたいと思います。

最優秀賞

■クレイン
いい湯だな
一度はおいでよ
鶴舞温泉
御園生 恵(介護職)

今回私達が温泉入浴支援を試みた理由は、利用者様から温泉に入りたいと言う声がとても多く、ぜひその思いをかなえてあげたいと思ったからです。お風呂好きの日本人にとって温泉はまさに最高の癒しの場になると思います。これからも継続して入浴支援を行い、利用者様の安心と生きがいにつなげていきたいと思います。ありがとうございました。

優秀賞

■ユ・アイ久楽部
当施設における
看取り介護への取り組み
佐藤 美恵(介護職)

ターミナルを始めたばかりで他の発表から学ぶ気持ちで参加させて頂きました。その中で『その人らしさ』ということの大切さを改めて感じました。優秀賞を頂きとてもうれしく思っていますが今後により良く活かせていただいたらと思います。

レクリエーション

投票の集計の時間を利用し、千葉県レクリエーション協会 湯山房江氏によるレクリエーションが行われました。

会場の長時間緊張した空気が、瞬時に和やかな雰囲気に変貌しました。

平成22年度『研究事例発表大会』

12月16日(木)千葉市文化センターにて、平成22年度「研究事例発表大会」が開催されました。県内の46施設から156名の参加をいただきました。28の口演発表の中から、参加者の投票により最優秀賞・優秀賞演題が表彰を受け、会場は大いに盛り上がっていました。

~~~~~各施設によるパネル発表スナップ~~~~~



・ユーハイク「パッチワーク」



・はづらつりハビリセントラ
「家族と一緒に外出を試みて」



・辰巳ナーミング・ヴィラ「みんなはじける大運動会!」



・やすらぎ「地域交流と人材育成」



・サンシルバー市川
「私たちの一年間の頑張った発表」



・赤門なのはな館「真わな~い」



・我孫子ロイヤルケアセンター
「クリスマス作品とクラブ活動」



・ロータスケアセンター「0歳から100歳まで」

『リスクマネジメント研修会』報告



講師 谷田 寿実 氏
株レガート・コンサルティング代表

平成22年10月21日(木)千葉県教育会館にて「リスクマネジメント研修会」が開催され、40施設57名が参加しました。

講師には、株レガート・コンサルティング代表、谷田寿実氏をお迎えし、老人施設のリスクマネジメント及びクレーム対応について、様々な事例を紹介しながらわかりやすくお話ししていただきました。谷田先生の関西弁での講義は、親しみやすく身近に感じられ、和氣あいあいの雰囲気の中で午後のグループディスカッションでも活発な意見交換ができました。

まず、リスクマネジメントの基礎知識として、完璧な事故防止活動をしていても事故はゼロにはならない→介護とは「人が生活することを支援(援助)する仕事」なので、人が生活することに伴うリスクは避けられない。マンパワー、つまり介護スタッフの人員及び負担には必ず限界があるということです。ミスをしても事故に繋がらない仕組みづくりが、リスクマネジメントなのだと学びました。同時に、建物・設備の安全性の確認と見直し、福祉用具・道具の保守点検も常日頃から計画的に行わなければならず、わずかな不備が事故の要因となることを再認識しました。

事例のひとつとして、ケアプランに「移動は見守りが必要」と書いてあり、ご利用者が急に立ち上がり転倒してしまったら、家族は、職員が見守りを怠つたため事故は起きたと解釈し訴訟になりました。

一方で、施設に過失のない事故でも家族が納得するとは限らない。利用者の安全に対する家族の期待はもっと高いということを念頭に置き、日頃から家族とのコミュニケーションを密にしてリスクを共有していくことが大切なだと再認識しました。

また、クレーム対応について最も大切なことは、事業者側が正しいかどうかではなく、クレームに対する事業所の姿勢を『お客様がどう感じるか?』というこ

と。クレーム評価せず、マイナス評価せず、オープンにして皆で学ぼう」という姿勢と環境を作ることが重要なことだといました。

クレーム対応においては、クレームをマイナス評価・苦情処理として捉えるのではなく、ひとつの改善提案として捉えることが大切であり、「皆で学ぼう」という姿勢で取り組んでいく必要性を強く感じました。職員が気持ちよく積極的にクレームに対応できる環境を作り上げていくことが、よりよい施設となつていくように思えました。



和やかな雰囲気の中、グループごとに事例に対する意見交換が行われました

した。



エクセレントケア志津
介護支援専門員
深澤 良子

参加者の感想



『輝く未来のために』

偕樂園

竹本 志保（介護支援専門員）

三年前、小学六年生の子供達を対象とした講演会で「介護の仕事はどんな仕事か」をテーマにお話をさせていた

だいた事があります。子供達に知識や

関心を持つてもらう事を目的とし、介護職のほんの一部分を紹介させて頂きました。

大人用の紙おむつを見せた時には

「でかい！」と驚きの声が沢山聞こえ

たり、身体介護だけではなく、お話を

傾聴する事も同じ位に大切な仕事な

のだと説明すると、一生懸命メモを取

る子供達の姿が見えたり。

「なぜこの仕事をしようと思ったの

ですか？」「どんな人の介護が一番難

しいですか？」等、子供らしい、しかし

回答に詰まるような鋭い質問もあり、

私自身も大変充実した、素晴らしい時

間でした。

介護の仕事は理想と現実のギャッ

プが大きく、それが明瞭にわかりやす



い為か、「こんなはずではなかつた」と介護職から離れてしまう人も少なくありません。又、それを直視できず目に逸らしてやり過ごしてしまう事もあり、これについては私自身にも身に覚えがあります。人材不足・担い手がないと嘆くのは、ただ業務がきついから？給料が安いから？

熱心にキラキラした目で話を聞いてくれた子供達が、将来介護の道を選んだ時、自分の目指した道は確かにこれまで良かったのだと思えるような施設や事業所が増える事を心から願い、又自分自身も日々努力していくなければと気持ちを引き締めています。

支援相談員部会は年二回の部会と一回の研修会を行っています。千葉県内八つのブロックに分け、部会運営はブロック毎の輪番制にて担当となります。

一回目の相談員部会にて初めて開催に携わりました。相談員が知りたい、聞きたいと思う内容の講義をと考

え取り組みました。板橋区の老人保健施設エーデルワイスの副事務長の川崎敦氏に「相談員とは…」という題目

にてご自身の施設の貴重なデータや資料を元に講演して頂きました。終了後、皆様より「とても興味深く参考になれる講義だった」と感想を頂きました。日々の仕事の中、他の施設ではどのようにしているのかと思うこともあります。相談員部会はそのようなときの為、横の繋がりを作る場でもあるのだと改めて実感しました。毎日の仕事に追われがちではありますが、各ブロック毎の部会も含めて活発な意見交換を行う場として参加し、より良い老健への発展に繋げられればと思います。

「支援相談員部会」 よりお知らせ



サンシルバー市川
相談員
三須 邦子

福祉車両の
プロフェッショナルに
お任せください。



福祉車両の販売・メンテナンス
インジニアス株式会社

〒114-0004 東京都北区堀船3-32-11 tel.03-3902311
フリーダイヤル 0120-023-238



ホームページにて 福祉のひろばを開設致しました。
無料掲載をご希望の施設様はお問い合わせ下さい。

<http://www.ingenious.co.jp/>



な の は な
ス マ イ ル

…施設の笑顔紹介



いつも一人一人に愛情を込めた
介護を提供していけるよう
努めております。
利用者さんの笑顔が大好き!!

●さかえケアセンター
介護福祉士 大崎 成美



当施設は、地域の皆様に支えられて今年で13年目を迎えることができました。

これからも地域に根ざした施設を目指し、人ととの協調性や思いやりを大切に、スタッフが一丸となって、みなさまに愛される介護施設となるよう、がんばってまいります。



■ さかえケアセンター

住所：千葉県印旛郡栄町安食2421
電話：0476-95-6510
開設日：平成9年10月30日
入所：80名
通所：20名



いつも元気で笑顔を忘れずに!!
忙しい時ほど一呼吸おいて、
利用者の方々と接するように
心がけています。

●ミス・ヘンテ記念ケアセンター
介護福祉士 橋本 ゆり



同じ敷地内に病院・老人保健施設と特別養護老人ホームがあり、それぞれが連携を図りながら当法人は創立75周年を迎えました。

これからも、「一人ひとりに愛と希望を——」のスローガンに基づいて、利用者の方々が笑顔で過ごせる温かみのある施設を目指して参ります。



■ ミス・ヘンテ記念 ケアセンター

住所：千葉県匝瑳市飯倉20
電話：0479-73-2115
開設日：平成2年8月18日
入所：80名
通所：30名

老健ちばカレンダー

2月 16日(水) 事務職員研修会
『ホテルポートプラザちば』

3月 16日(水) 平成22年度臨時総会
『京葉銀行文化プラザ』



●編集後記

- あけましておめでとうございます。今年も、皆様にたくさんの話題を提供してまいります。ピョン!! (佐々木)
- 2歳になる息子は日増しに凶暴になり、手がかかるてます(泣)。最近は、ウルトラマンにはまり、手から光線を必死に射してます(笑)。(原)
- 2011年がスタート! 今年こそはロト6で高額当選を期待します。毎年そんな事を思いつつ過ぎていきます。(神作)
- 昨年末から、職員ブログを始めました。どうぞエクセレントケア志津のHPを覗いてみて下さい。(坂本)
- 研究事例発表会の取材に行ってきました。皆さんのが各々の役割で活躍する姿にふれ、元気を分けてもらいました。(若林)
- 昨年の世相漢字は『暑』でしたが、ことしは何事にも『熱』く燃えながら頑張って行こうと思います。(斎藤)